

## 平成 12 年度事業報告

### 1 会員状況

#### 1.1 法人会員および団体会員

| 級 種 | 平成 12 年度末 | 平成 11 年度末 | 増 減   |
|-----|-----------|-----------|-------|
| 1 級 | 13 社      | 13 社      | 0 社   |
| 2 級 | 9 社       | 9 社       | 0 社   |
| 3 級 | 19 社      | 20 社      | 0 社   |
| 4 級 | 23 社      | 24 社      | - 1 社 |
| 5 級 | 96 社      | 100 社     | - 4 社 |
| 計   | 160 社     | 166 社     | - 6 社 |

#### 1.2 個人会員

| 種 別  | 平成 12 年度末 | 平成 11 年度末 | 増 減    |
|------|-----------|-----------|--------|
| 普通会員 | 1902 名    | 1957 名    | - 55 名 |
| 学生会員 | 85 名      | 111 名     | - 26 名 |
| 計    | 1987 名    | 2068 名    | - 81 名 |

#### 1.3 名誉会員 ( 15 名 )

阿河 利男 阿部 芳郎 荻野 圭三 北原 文雄 小森 三郎 櫻井 洸 佐々木恒孝  
高木 徹 豊口 満 西 一郎 橋本哲太郎 早野 茂夫 松本 太郎 森 昭  
渡辺昭一郎

#### 1.4 会費収入の推移

## 2 会務

### 2.1 総会

第46回通常総会を、平成12年3月30日、油脂工業会館で開催したが、この総会は代議員を構成員とする初めての総会である。委任状出席を含め104名の代議員の出席を得て議案を審議した。

11年度事業報告、監査報告、12年度事業計画、定款の一部変更ならびに代議員および役員選任規程の改定、名誉会員の推戴および平成12年度役員の選任等が審議され、いずれも原案通り承認・可決された。

また、引き続き表彰式が執り行われ、つぎの各氏が表彰された。

- (1) 名誉会員に高木 徹氏が推戴された。
- (2) 日本油化学会功績賞が須原 康夫氏に贈呈された。
- (3) 平成11年度日本油化学会賞等が次の各氏に贈呈された。

学会賞受賞者 1.東京理科大学理学部 上野 實 氏  
2.大阪市立工業研究所 武田 徳司 氏  
3.東北大学大学院農学研究科 宮澤 陽夫 氏

進歩賞受賞者 1.エステー化学株式会社 徳岡 由一 氏

総会に引き続き、懇親会がルビーホールで開かれ、70余名の出席があった。

### 2.2 理事会

定例理事会は5回開催し、平成11年度一般会計・特別会計決算案および平成12年度同予算案、平成12年度運営委員、各業務委員・専門部会長・支部長等の選任、名誉会員の推戴、日本油化学会功績賞および日本油化学会賞等の選定、次次年度年会開催地の選定および実行委員長等の選任、など、重要案件について審議決定した。

出席理事 延86名、委任状提出理事 延8名、出席監事 延16名

### 2.3 運営委員会および業務委員会等開催状況

本年度より、あらたに設けられた運営会議を理事会、運営委員会が開催されない月に開催し、緊急かつ重要な案件について審議することになった。

・運営委員会 6回、運営会議 5回、名誉会員等との運営懇談会は1回、それぞれ開催された。

・業務委員会は延62回開催された。各業務委員会の開催数は、次のとおり。

|              |                     |             |     |
|--------------|---------------------|-------------|-----|
| 総務、定款細則改訂委員会 | 6回                  | 役員候補者推薦委員会  | 2回  |
| 財務、広告委員会     | 3回                  | 学会賞選考委員会    | 2回  |
| 企画・部会統括委員会   | 6回                  | 功績賞推薦委員会    | 2回  |
| 国際交流委員会      | 1回                  | 規格試験法委員会    | 11回 |
| 編集委員会        | 11回(うちJOS部門編集長会 3回) |             |     |
| JAWC 2000委員会 | 14回                 | 50周年記念事業委員会 | 3回  |
| ミレニアム委員会     | 1回                  |             |     |

定款変更を主務官庁に対する許可の申請と取得、定款変更に伴う細則・規程及び内規の見直し改訂、会計システムの構築、専門部会活動の調整強化とフレッシュマンセミナーの実施、

「Journal of Oleo Science」および「オレオサイエンス」の発行準備，ミレニアム委員会の活動等のほか，トランス脂肪酸，2 位脂肪酸の分析法の検討などの活動がなされ，多くの成果をあげることができた。

なお，国際交流については，JAWC2000 実行委員 6 名が昨年に引き続き AOCs 年会に出席し，AOCs 側委員と打合せの会議に出席した。また，関谷国際交流委員長が界面活性剤国際会議(成都)に出席した。

・若手の会委員会 委員会 3 回

サマースクール，談話会の開催，若手の会ページ(会誌)の充実など活性化に取り組んだ。

### 3 事業報告

#### 3.1 専門部会および支部活動状況

##### (1) 支部行事

関東支部 常任幹事会 3，幹事会 1，事業企画委員会 3，見学会 1，交流会 1

東海支部 常任幹事会 4，役員会 1，その他委員会 2

関西支部 常任幹事会 5，幹事会 3，

##### (2) 専門部会および支部による講演会・セミナー等の行事開催。

専門部会および支部による講演会・セミナー等の行事は延 31 回開催され，参加者数は延 1861 名を数えた。講演いただいた講師の先生方は延 137 名であった。

|              |      |      |      |         |
|--------------|------|------|------|---------|
| ・専門部会        | 開催回数 | 12 回 | 参加者数 | 延 637 名 |
| ・若手の会        | 開催回数 | 2 回  | 参加者数 | 延 105 名 |
| ・関東支部        | 開催回数 | 5 回  | 参加者数 | 延 258 名 |
| ・東海支部        | 開催回数 | 4 回  | 参加者数 | 延 253 名 |
| ・関西支部        | 開催回数 | 6 回  | 参加者数 | 延 263 名 |
| ・フレッシュマンセミナー | 開催回数 | 2 回  | 参加者数 | 延 235 名 |

#### 3.2 日本油化学会誌

##### (1) 会誌発行状況

第 49 巻第 1 号～第 11・12 号(11・12 号は合併号) 総ページ数 1876

普通号 9 回、特集号 2 回(5 月号、10 月号)

発行部数 2800 部/月

##### (2) 掲載内容

報文・ノート・速報 邦文 40 件，欧文 48 件， 576 ページ

総説 邦文 43 件， 412 ページ

研究文献抄録 429 件， 88 ページ

その他記事 545 ページ

会務・会告等 260 ページ

##### (3) 「Journal of Oleo Science」および「オレオサイエンス」の発行

2001 年 1 月号より，日本油化学会誌をオリジナル論文中心の学術誌(英文誌)と学術的啓発と情報を中心とした情報誌に分冊することになり，会誌の名称はそれぞれ

「Journal of Oleo Science」および「オレオサイエンス」になった。

### 3.3 日米油化学会世界会議 (JAWC2000)・日本油化学会年会

大場組織委員長，池田実行委員長，小松総務委員長，関谷企画委員長，三浦プログラム委員長および大部財務委員長を中心に実行委員会を組織し，関西支部の協力のもとに準備・開催した。当初の予想を上回る参加者，発表件数があり，盛況裡に，滞りなく終えることができた。その概要は，オレオサイエンス3月号に掲載されている。

期 日：平成12年10月22日(日)～27日(金)

会 場：京都会館，京都市勧業館

内 容：

|               |         |     |    |      |
|---------------|---------|-----|----|------|
| 1. 参加国数       | 21ヶ国    |     |    |      |
| 2. 参加者総数      | 621名    |     |    |      |
| 3. 講演件数       | 292件    | うち  | 海外 | 90件  |
| ・基調講演         | 6件      | うち  | 海外 | 3件   |
| ・受賞講演         | 4件      |     |    |      |
| ・セッション講演      | 20件     | うち  | 海外 | 10件  |
| ・若手の会講演       | 1件      | うち  | 海外 | 1件   |
| ・一般講演         | 126件    | うち  | 海外 | 60件  |
| ・ポスター発表       | 135件    | うち  | 海外 | 16件  |
| 4. ウェルカムミキサー  | 京都市勧業館  | 参加者 |    | 188名 |
| 5. 懇親会        | 都ホテル    |     |    | 305名 |
| 6. エクスカーション   | 金閣寺・大覚寺 |     |    | 83名  |
| 7. テクニカルツアー   | 月桂冠，福寿園 |     |    | 30名  |
| 8. 同伴者プログラム 1 | 文化プログラム |     |    | 24名  |
| 2             | 大原ツアー   |     |    | 24名  |

### 9. 第9回 JOCS オイルカップスポーツ大会 10月24日

テニス：(岡崎公園テニスコート) 外国勢3名を含め，参加者20名

ボーリング：(しょうざんボウル) 外国勢3名を含め，参加者26名

スポーツ大会終了後，合同懇親会が設定され，人と人とのふれあいをさらに深めた。

### 3.4 創立50周年記念事業

第4版の「油脂化学便覧」の出版は，菊川清見委員長のもとに4回の編集会議を開催し，改訂作業が順調に進行している。また，記念誌「日本油化学会50年のあゆみ」は，秋久俊博委員長のもとに3回の委員会において編纂内容の骨格，執筆者などが決定した。他の小委員会は次年度から本格的に活動することを実行委員会において確認した。

### 3.5 ミレニアム委員会

大場会長による諮問「今後の日本油化学会のあり方 - 魅力ある学会を目指して - 」を受けて発足した委員会は，島崎弘幸委員長のもとに9名の委員で検討した。その内容は会誌9月号に，「今後の日本油化学会のあり方として」，また，大場会長によって運営委員会および新設された運営会議を中心に展開されつつある状況を，「ミレニアム委員会の答申の概要

とその展開状況について」の表題で、それぞれ報告されている。